

教育プログラム・コースの概要

大学名等	近畿大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	呼吸器腫瘍外科専門医養成コース						
対象職種・分野	医学研究科医学系専攻大学院生						
修業年限(期間)	4年						
養成すべき人材像	高い臨床手技力と研究能力を併せ持つ呼吸器腫瘍外科医を養成する。先端の外科技術の修練や、希少がん及び難治がんの病態解明と分子標的治療開発を目指す研究を行い、学位取得ならびに、高い外科技術と先端ゲノム医療の基礎知識を有し、かつライフステージに応じた対応の出来るがん専門医師を養成する。						
修了要件・履修方法	必須科目24単位、選択科目6単位以上、合計30単位以上を履修する。がん研究関連の博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。						
履修科目等	<必修科目> 腫瘍学Ⅰ 基盤講義(医療現場・学際領域)(2単位)、腫瘍学Ⅱ 横断講義(予防・研究開発)(2単位)、臓器病態制御外科学Ⅲ特論A(臨床的研究)(8単位)、臓器病態制御外科学Ⅲ特論B(講義・演習)(4単位)、呼吸器外科学(4単位)、腫瘍外科学実習(4単位) <選択科目> 臓器病態制御外科学Ⅲ特論B(実験的研究)(8単位)、がん緩和医療演習(2単位)、放射線腫瘍学実習(4単位)、分子腫瘍学(2単位)、がん薬物治療学(2単位)						
がんに関する専門資格との連携	呼吸器外科専門医(呼吸器外科専門医合同委員会)の専門医制度指定修練施設(認定施設)として認定。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	呼吸器腫瘍外科領域、特に肺がん縮小手術、低侵襲手術、集学的治療としての外科治療、周術期薬物療法に関して、臨床研究、国際共同研究を通じて最先端の知識や技術の修得が可能である。また分子標的治療、免疫療法に関連したトランスレーショナルリサーチを行う。						
指導体制	各専門医・指導医資格を有する医師および基礎医学での博士号取得者が教育を担う。その他、関連する他科教官による講義・実習も予定する。						
修了者の進路キャリアパス	呼吸器外科専門医の取得および、基礎医学から臨床研究転用までの幅広い知識を有する呼吸器腫瘍外科医として大学病院もしくはがん拠点病院等の地域における基幹病院でのリーダーとしての活躍を期待する。						
受入開始時期	令和6年4月						
受入目標人数	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	1	1	1	1	1	5
受入(養成)目標人数設定の考え方・根拠	過去の大学院志願者数及び入学ニーズ調査から毎年度1人の志願者が見込まれるため、受入れ目標人数5人と設定。						